

第10回徳山ダム事業費管理検討会 審議内容メモ

日時：平成20年1月31日（木）10：00～12：40

場所：水資源機構中部支社 4階会議室

出席者：

国土交通省中部地方整備局河川部長（会長）

岐阜県県土整備部長

愛知県地域振興部長（代理 水資源監）

愛知県建設部長（代理 技監）

愛知県企業庁水道部長

三重県政策部長（代理 交通・資源政策監）

三重県県土整備部長

名古屋市上下水道局技術本部長

水資源機構中部支社副支社長

配付資料

- ・第10回徳山ダム事業費管理検討会 議事次第
- ・第10回徳山ダム事業費管理検討会 規約
- ・第10回徳山ダム事業費管理検討会 資料

議事内容

1. 事業の進捗状況について

工事及び試験湛水の見通し、ダム運用等の観点から、平成20年度からは機能を発揮しうる状況となっており、4月から管理移行する方向で手続きを進めることを確認した。

2. 事業費管理について

- ①総事業費約3,500億円に対して、約149億円のコスト縮減が図られ、最終の事業費が約3,351億円の見通しであることを確認した。
- ②山林公有地化の進捗状況を確認するとともに、引き続き地権者の協力を得て平成20年度以降も買収を継続することを確認した。
- ③樹林帯用地の進捗状況を確認するとともに、引き続き地権者の協力等を得て買収に全力を傾けることを確認した。併せて、岐阜県から機構に対して地権者へは誠実に対応してほしい旨の要請があった。

3. その他

集団移転地文殊地区及び網代地区の対応状況について報告を受けた。岐阜県から機構に今後も引き続き移転地の方々に誠意を持って対応するよう要請があった。

(以上)